

「胃内視鏡治療患者における white globe appearance の

頻度に関する検討」へご協力をお願い

—2015年1月1日～2021年5月8日の間に当科において
胃癌に対して内視鏡治療を行った方及びそのご家族の方へ—

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 病院長 前田 嘉信

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

研究機関長 研究科長 伊達 勲

責任研究者 岡山大学病院 消化器内科 助教 岩室 雅也

分担研究者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 消化器・肝臓内科学分野 教授 岡田 裕之

1. 研究の意義と目的

White globe appearance (WGA: 白色球状外観)は、胃カメラ(上部消化管内視鏡検査)で胃にみられる小さな白色球状物のことです。WGAは胃癌でみられることが多いと報告されましたが、現在までのところ、WGAがどのような患者様で見られるかについては十分な検討がなされていません。そこで本研究は、岡山大学病院で胃癌に対して内視鏡治療を行った方の症例データを集め、WGAがみられる割合を解析することを目的とします。

本研究を行うことで、どのような患者様でWGAがみられやすいか、すなわちWGAの意義を明らかにすることができ、将来的に胃癌の診断を含めた胃カメラ検査(上部消化管内視鏡検査)の診療に役立つことが期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象:

岡山大学病院の内視鏡データベースをもとに検索し、2015年1月1日から2021年5月8日までに胃癌に対して内視鏡治療を行った患者様1000人を対象とする予定です。

2) 研究期間:

倫理委員会承認後～2021年9月30日

3) 研究方法:

胃癌に対して内視鏡治療を行った患者様の年齢、性別、家族歴、既往歴、主訴、基礎疾患、内服薬、血液検査データ、内視鏡検査やCT検査を含む画像検査結果、手術記録、病理組織データ、治療内容、治療後の経過について検討します。

本研究では対象となる患者様の2015年1月1日から2021年5月8日までの診療情報を用います。すなわち、過去のカルテデータ、血液データ等のみを使用し、新たな血液やデータは取得いたしません。

4) 使用する情報

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日など、ただちにあなたを特定できる情報は削除します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

胃癌に対して内視鏡治療を行った患者様の年齢、性別、家族歴、既往歴、主訴、基礎疾患、内服薬、血液検査データ、内視鏡検査やCT検査を含む画像検査結果、手術記録、病理組織データ、治療内容、治療後の経過

過

5) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年が経過した日までの間施錠可能な場所（消化器内科医局）で保存し、その後は個人情報に十分注意して破棄させていただきます。

6) 情報の保護、二次利用

調査情報は岡山大学病院消化器内科医局で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保管している情報を他の研究に用いる場合には、委員会の承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（親権者又は未成年後見人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

【研究事務局】

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学病院 消化器内科 TEL 086-235-7219（平日：9時00分～17時00分）

担当：岩室 雅也